

～ かがやく杉谷っ子のために ～

ONE TEAM



島原市立第四小学校
学校だより No.140
令和5年6月28日(水)
文責：校長 大槻浩二

Smile & Challenge 育友会学級対抗球技大会

6月25日(日)に育友会学級対抗球技大会として、4年ぶりにミニバレーボール大会が復活しました。各学級から1チーム、職員チームも併せて8チームで競技を行いました。2ブロックに分け、リンクリーグで上位2チームを決める予選リーグを行い、各ブロック1位同士で決勝戦、2位同士で3位決定戦を行いました。

久しぶりの大会でしたが、どの試合も白熱した試合が続き、体育館は熱気と歓声に包まれました。子どもたちの大きな声援の中、好プレー、珍プレーありの Smile いっぱいのすばらしい大会となりました。各学級の保護者間の絆も深まったことと思います。

結果は、次のとおりです。

【順位・ハッスル賞】

優 勝	5年1組
2 位	4年1組
3 位	6年1組
ハッスル賞・男性	松本 力さん
ハッスル賞・女性	下岸 智子さん

準備をしてくださった、本部役員、体育部、学級代議員、各チームの代表の方々に感謝申し上げます。今後ともよろしく願いいたします。



【優勝 5年2組】



【2位 4年1組】



【3位 6年1組】



夢(Dream)について考えよう

五年生「夢の教室」での感想です。一部抜粋です。

五年一組 松本美央理

わたしは、話を聞いて伝えることとあきらめないことの大切さを知りました。人間は伝えないとわからないし、すぐあきらめると何も上手にはならないんです。

だから、わたしも陸上で嫌になることもたくさんありますが、そんな時にあきらめずに壁に立ち向かうことが必要だなと思いました。

そして、夢や思ったことは、伝えることで可能性が広まるという事が、先生の話聞いてわかりました。

五年二組 馬場 理功

ぼくは、今日のユメセンセイの話で特に大事だと思ったのは「伝える」ということです。理由は、自分の夢は、しっかり持ち、相手に伝えることで相手もわかってくれる、もしくは反対する人もいるかもしれない、それでも無理と思わずに挑戦し続けるということが大切だとわかりました。



「夢にときめけ 明日にきらめけ」
「人の夢をバカにするな」

昔、流行したドラマの名言である。

夢の教室で一流アスリートのユメセンセイから「伝えること」「口に出すこと」の大切さを学んだ。

自分の夢を発表することに抵抗のない子どもたちの姿を嬉しく思う。昨年の五年生もそうであつたし、六年生の子どもたちも卒業前に夢を言葉とイラストで作品を作っており、素敵だなと思った。

夢や憧れを持つことは、学ぶことへの意欲付けになるし、生きがいにつながるのだと思う。

夢を口に出すことで、明確な目標になり自分の励みになるに違いない。

子どもたちには、自分の夢を周りに伝え、明確な目標や目的をもって Challenge してほしい。

自分の夢を大切にしている子は、友だちの夢も大切にできる。

人の夢を笑ったりバカにしたりせず、お互いに夢を応援できる子に育てたい。

周りの大人こそ、そうでありたい。実現可能かどうかは、大人が決めることではない。

子どもが夢を語る時には、夢を実現する方法や道筋を教え、励ましたり助けたりするサポーターでありたい。



第四小学校ホームページ

【URL】 <https://4sho.shimabara-edu.com/>

※更新を心がけています。ぜひ、お気に入りへの登録を！



←QR コードで
ジャンプ！